



2015 年 11 月 27 日

各 位

サンバイオ株式会社

**2015 ワールド・アライアンス・フォーラム in サンフランシスコ
～再生医療 Let's Talk Business～
で当社社長の森が登壇しました**

2015 年 11 月 11～12 日の 2 日間、米国サンフランシスコにて、「再生医療 : Let's Talk Business」をテーマに 2015 ワールド・アライアンス・フォーラムが開催され、当社社長の森敬太がスピーカーとして登壇し、再生医療の事業化に関するケース・ディスカッションを行いました。

ワールド・アライアンス・フォーラムは、再生医療をテーマに取り上げた 3 年目となる国際会議であり、日米のトップ研究者、企業経営者、関係団体代表等がサンフランシスコに一堂に会し、国境を超えた事業化・産業化の戦略を議論し、早期実現に繋げることを目的としたフォーラムです。

ケース・ディスカッションでは、「ニューヨーク・ステムセル基金」の創業者であり CEO でもあるスーザン・ソロモン氏のモデレーションのもと、慶應義塾大学医学部長である岡野栄之教授と当社社長の森とが、当社を事業化の事例として挙げながら、再生医療の実用化に向けて(Road to Commercialization)のディスカッションを実施いたしました。

ディスカッションにおいては、当社が、2001 年の創業時から 10 年近くかけて細胞治療薬の量産化技術を構築することに注力する一方で、開発に必要な資金調達を含む経営面がその活動を支え続けたことで、臨床試験まで漕ぎつけ、さらには米国において行った慢性期脳梗塞のフェーズ 1/2a 臨床試験において弊社細胞治療薬「SB623」の安全性のみならず統計学的に有意な有効性が確認されるまでに至ったということが紹介され高く評価されました。

最後に、再生医療分野においては、それそのものが単独で成立するものでなく、細胞薬であれば細胞薬そのものの開発だけでなく、細胞を育てる技術や既存薬・既存治療方法とのコンビネーションで活用されることも期待されており、それにより、さらなる医療の発展が期待できるだろうとし、産業全体として再生医療の事業化を推し進める重要性が、岡野教授とのディスカッションのなかで示されました。

以 上

再生細胞薬について

当社グループが手掛ける再生細胞薬は、病気・事故等で失われた身体機能の自然な再生プロセスを誘引ないし促進させ、運動機能、感覚機能、認知機能を再生させる効能が期待される医薬品です。

サンバイオ株式会社および SanBio, Inc. (以下「当社グループ」という) について

当社グループは、再生細胞薬の研究、開発、製造及び販売を手掛ける再生細胞事業を展開しています。当社独自の再生細胞薬である SB623 は、慢性期脳梗塞を対象にすでに第 II 相試験の段階に入っています。外傷性脳損傷については、2015 年 10 月に第 II 相臨床試験が開始されたところです。当社グループは、東京を本社とし、米国のサンフランシスコ・ベイエリアには研究開発の主たる拠点を構えています。

○本件に関するお問い合わせ先
サンバイオ株式会社 経営管理部
TEL 03-6264-3481